

質疑応答の状況 (要旨)

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>抽出案件について</p> <p>1 高文安第1号 県道高松志度線(牟礼工区)交通安全施設工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が低い理由はどのようなことが考えられるか。 ・応札者数は2者であるが、他の業者は手持ち工事があったということか。 ・年度当初の発注工事では、こういうことはよくあるのか。 ・総合評価において、企業の受注能力はどのように評価しているのか。 <p>2 (防災・安全社会資本整備交付金)財田川 河川改修工事(河道掘削)(第1工区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応札者が12者と多い。河川の工事はそんなに手間がかからないということか。道路工事と違って交通規制も必要ないことから、人手がかからないということか。 ・今回は工事の内容で興味を持った業者が多く、応札者が多くなったが、護岸になると難しくなるということか。 ・ICT活用工事の試行対象となっているが、どう評価に反映されているのか。 ・受注能力について、応札した12社すべてが満点の20点になっているが、昨年度受注した工事を抱えていたり、状況は違うと思う。差があるのが本当ではないか。 <p>3 香川県庁舎東館空調設備その他改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価において、「周辺環境に関し配慮すべき事項への適切性の提案」はどのようなものか。 ・総合評価において、「工事成績評定点の平均点」が「一」になっている業者があるが、点の付け方はどのようにしているか。 <p>4 令和元年度林道琴南財田3-1号線開設工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指名業者の選定については、地域特性を考慮して工事箇所のある地域の業者をまず選定し、不足の場合は近隣地域に選定範囲を広げているとの説明があったが、具体的にはどのように選定したのか。 ・8社指名したが応札者が3者になった理由として、どのようなことが考えられるのか。 <p>5 中道維第213号 国道377号外5線 道路維持修繕工事(草刈工)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の工事は応札者が1者だが、他の同様の草刈工事では複数の応札者がある。今回の工事で応札者が1者になった理由はどのようなことが考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の発注工事であったため、手持ち工事がないあるいは少ない応札者間で競争原理が働き、落札率が低くなったのではないかと推測する。 ・そう推測している。 ・昨年は国の補正の関係で年度末に発注した工事もあり、それを受注した業者は手持ち工事があるということで参加しなかったのではないかと推測される。 ・過去4年間の工事受注総額の年平均に対する、入札時点における今年度の工事受注額の割合で算出している。 ・今回は河道掘削という土の移動が主な工事内容で、標準的な機械で行える工事である。護岸工事や橋梁工事等では異なる。 ・そのように考えている。 ・ICT活用工事の評価は入札の段階ではなく、工事成績の評定において、創意工夫の項目で評価することとなっている。 ・年度当初であり、どの業者も今年度受注した工事がなかったため、現行の評価基準では満点となる。 ・本工事では、騒音対策と粉塵対策について提案を出してもらった。標準的な対策を行うことが前提であり、それ以上のより良い提案があった場合に得点が得られる。 ・過去4年間の同種工事の工事成績を評価するもので、管工事の実績が4年間なかったため、「一」で表示されている。 ・今回は、今年度初回の発注であることから、経営審査における総合点数が高い順に、指名業者を選定している。 ・当工事は、山間部での工事であり、現場条件も容易とは言えなかったことが原因と考えられる。 ・業者は県の工事だけではなく、民間や市町の工事を受注していることや、施工時期が集中する時期の発注になったことから、1者になったのではないかと推測している。